

広報 いいで

4

9, April
2015
Vol.1057

平成27年度 飯豊町立第二小学校 入学式
ご入学おめでとう

校区民一同

お兄さん・お姉さん
「よろしくお願ひします！」

写真／胸を張って堂々の行進を見せる
第二小学校に入学した新一年生

- 03 **ひと目でわかる！ 役場利用ガイド**
施設の位置図／各部署の担当業務／職員の配置
- 08 **平成27年度の施政方針と予算**
町政運営の基本方針と主要な施策の概要／町の予算
- 12 **JA青年組織活動実績発表全国大会最高賞を受賞**
JA山形おきたま青年部（飯豊地区）
- 13 **認知症になっても地域で安心して暮らすために**
認知症初期集中支援チーム／事前登録制度開始
- 14 **まちかどNEWS**
山形交響楽団ホリデーコンサート／夕灯のつどい／災害時の福祉避難所指定協定の締結ほか
- 16 **スナップショット**
- 17 **中ノ目史「中ノ目の歴史散歩」完成**
- 18 **直伝おふくろの味**
- 19 **子育てファイル／あ～す図書室情報**
- 20 **ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き**
- 21 **健康ikiikiプラス**
- 22 **お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記**
- 24 **第2回心の古里いいでフォトコンテスト**
ダイジェスト版

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

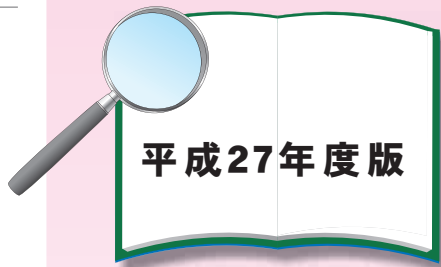
表紙

ピカピカの一年生！勉強も遊びも頑張ります



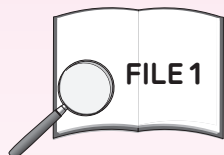
担任の先生の話を中心して聞く第二小の新一年生たち

4月7日、町内の小学校で入学式が行われました。第二小学校に入学した12名の新一年生たちは、時折照れくさそうな表情を浮かべながらも大きな腕振りで堂々の入場を見せました。式終了後は教室に移動し、真新しい文具を手にとり取りしてこれから始まる学校生活を心待ちにしているようでした。友達と共に、これからの6年間のドラマがどのように創られていくのが楽しみです。



ひと目でわかる！ 役場利用ガイド

役場の各課はどんな業務を担当していて、職員体制はどうなっているのか。また、施設はどこにあるのか。町民の皆さんがひと目でわかるようにお知らせします。



施設の位置図 樺地内

map of public institutions

各部署の担当業務

職員の配置



白樺地区公民館

至手ノ子

県道

ガソリンスタンド
コンビニ

至萩生

町民の皆さんの健康や福祉に関する業務は、こちらの施設の健康福祉課で担当しています！

電器店

福祉事業所
でんでん

つばき保育園

健康福祉センター

- 健康福祉課
- 訪問看護ステーション
- 国保診療所
- 介護老人保健施設「美の里」

簡易郵便局

町民総合センター
「あ〜す」

- こどもみらい館

学校給食共同調理場

薬局

町社会福祉協議会
福祉の里めざみ
ひめさゆり荘2号館

至樺駅

至萩生駅

役場庁舎

TEL72-2111(代) FAX72-3827



役場内にある部署の主な業務

1 階

住民税務課

住民室／戸籍、住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録、埋火葬の許可、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

生活環境室／交通安全、環境衛生、環境保全、廃棄物処理、住民相談、墓地、犬の登録、公共交通、消費者行政、空家対策

税務室／住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、町税の納税支援

会計室／町公金支払い、現金の出納、物品の管理、指定金融機関

地域整備課

建設室／道路、橋梁、河川、建築確認、町営住宅、公共土木施設災害復旧工事、除雪

上下水道室／水道、水道料金、水道開栓・閉栓、農業集落排水、農業集落排水使用料、合併浄化槽、個別処理使用料

教育委員会・教育文化課

学校教育振興室／教育、学校、スクールバス、学校給食、奨学金

子育て支援室／子育て支援、幼稚園、保育園、児童虐待防止

※まちづくり室と生涯学習振興室は、町民総合センター「あ～す」内

2 階

総務企画課・選挙管理委員会事務局

行政管理室／町長秘書、法令、選挙、自治組織、入札、町有財産、統計、個人情報保護、指定管理者制度の施行

総合政策室／座談会、陳情要望、地域活動支援、財政、予算、総合計画、土地利用計画、NPO、男女共同参画

情報防災室／消防、防災、遭難対策、国民保護、広報、情報化

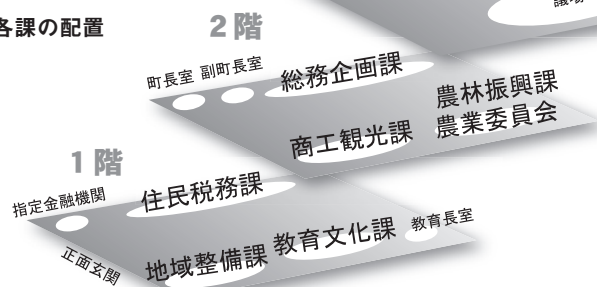
農林振興課・農業委員会

農業振興室／農業振興、生産調整、農業経営、畜産振興、地産地消

農林整備室／農地保全、農村環境整備、財産区、林業振興、山林保全、治山、治水、砂防

農地管理室／農業委員会、農地の権利、農地転用、農業者年金、新規就農支援、担い手

役場庁舎内各課の配置



商工観光課

観光交流室／観光、観光開発、特産品、観光物産、第3セクター、白川ダム、グリーンツーリズム

産業連携室／商業、工業、雇用、労働者、飯豊ブランド創設、第6次産業化推進

3 階

議会事務局・監査委員

町議会、町行政と財務の監査

MAP／椿地内





各部署はどの建物にあって 何を担当しているのか

施設
の
位置
図

健康福祉センター

子どもの保健や介護保険制度など福祉に関するご相談は、健康福祉センター（健康福祉課）まで

- 健康福祉課
福祉室・地域包括支援センター
TEL86-2233 FAX86-2230
健康医療室
TEL86-2338 FAX86-2230
- 訪問看護ステーション
TEL86-2232 FAX86-2229
- 国保診療所
TEL72-2300 FAX72-3375
- 介護老人保健施設「美の里」
TEL86-2117 FAX86-2118

健康福祉課の主な業務

健康福祉課

健康医療室 / 医療、健康推進、健康診断、予防接種、母子保健、感染症予防、食生活改善
福祉室 / 高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、介護保険、高齢者総合相談窓口、介護予防
訪問看護ステーション / 訪問看護（主治医の指示による療養上の世話・診療補助）

介護老人保健施設「美の里」



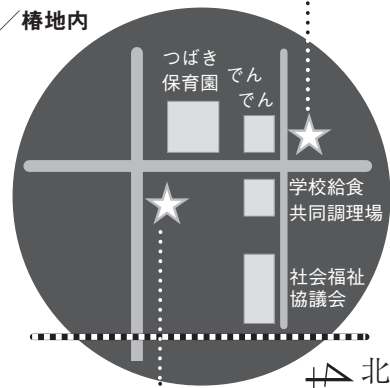
国保診療所



健康福祉課



MAP/椿地内



町民総合センター

- 町民総合センター「あ〜す」
まちづくり室・生涯学習振興室・図書室
TEL72-3111 FAX72-3163
- こどもみらい館 TEL72-3336

まちづくり室・生涯学習振興室の主な業務

教育委員会・教育文化課

まちづくり室 / 町民総合センター管理・運営、音楽からのまちづくり、文化振興、芸能、めざまの里まつり、にぎわい再現プロジェクト
生涯学習振興室 / 生涯学習、公民館、文化財、生涯スポーツ、青少年健全育成



職
員
の
配
置

主査 井上弘子
主査 後藤恵美子
主任保育士 志田登紀子
保育士 安部早苗
保育士 松山里佳(新)
調理師 五十嵐信子

つばき保育園

園長 館石みゆき(異)
主査 長沼静子
主査 藤川典子
主査 遠藤理恵子(昇)
保育士 岡田恵美
保育士 深谷智美(新)
保育士 佐藤祐美(新)
調理長 島田章久(異)

いいで中部幼稚園

園長 菊地文子
主査 伊藤やよい
主査 八島秀子(異)(昇)
教諭 横山璃里子

手ノ子幼稚園

園長 長岡とし子
主査 高世恵美子
教諭 奥村唯(異)

添川児童センター

館長 渡部銘子
主査 佐藤麻理子

子どもみらい館

子育て支援センター所長(兼)館長
横澤喜美子

教育文化課学校教育振興室所管
飯豊中技術員 菅野学

健康福祉センター

健康福祉課



課長 古川正次郎(異)(昇)

(兼)地域包括支援センター所長
(兼)訪問看護ステーション所長

健康医療室

室長 伊藤紀代子
保健師 遠藤悦子
保健師 小坏聡美
保健師 伊藤明美
主事 屋島さおり(昇)

福祉室

(兼)室長 古川正次郎

主査 後藤智美(異)
主査 渡部賢一(異)
主任保健師 渡部真知子
主事 井上由佳
主事 嶋貫朋美
主事 渡部弘樹

地域包括支援センター

(兼)主査 渡部賢一
(兼)主任保健師 渡部真知子
(兼)主事 嶋貫朋美
訪問看護ステーション
(兼)管理者 伊藤紀代子
看護師 高橋浩子
看護師 嶋貫玲子(嘱)
看護師 河井祐子(嘱)

介護老人保健施設



事務長 嘉藤正憲

(兼)施設管理主任 小松絵美
主任看護師 峯村智美
主任看護師 鈴木優子

看護師 手塚優子
主任理学療法士 井上由香
作業療法士 木村康之
看護師 吉田江美(嘱)
看護師 高橋とき子(嘱)

国保診療所



所長(医師) 鈴木有大(派)

(併)介護老人保健施設長
(兼)事務長 嘉藤正憲
主任 小松絵美
主任看護師 斎藤ゆり子(派)
看護師 笹川いち子(嘱)
看護師 梅津英子(嘱)

附属中津川診療所

(兼)事務長 嘉藤正憲
(兼)主任 小松絵美
看護師 渡部みゑ子(派)

総務企画課付

西置賜行政組合
養護老人ホームおいたま荘派遣



課長 齋藤隆

NPO法人「日本で最も美しい村」連合派遣
室長 高橋弘之

置賜広域病院組合派遣

主査 志田ちあき
主査 佃典子(昇)

**山形県後期高齢者医療
広域連合へ派遣**

主事 木村辰司

退職職員

山口四郎右衛門
(会計管理者)
鈴木正之
(住民税課課長)
渡部勢津子
(農林振興課農地管理室長
(併)農業委員会事務局長補佐)
高橋もと子
(教育文化課子育て支援室長)
手塚秀幸
(教育文化課生涯学習振興室長)
須貝喜代子
(つばき保育園園長)
渡辺豊子
(つばき保育園調理師)
※カッコ内は前職名

新規採用職員



主事 下條洋平
農林振興課
1990年生まれ
椿在住



主事 遠藤貴幸
地域整備課
1991年生まれ
添川在住



保育士 深谷智美
つばき保育園
1980年生まれ
手ノ子在住



保育士 佐藤祐美
つばき保育園
1990年生まれ
南陽市在住



保育士 松山里佳
さゆり保育園
1992年生まれ
手ノ子在住

**町内小中学校教
職員の異動**

	職名	氏名	新任校名
第一小	校長	大村亨夫	退職
	教諭	遠藤いち	退職
	教諭	土屋美保	叶水小(小国)
	教諭	長谷部靖	蚕桑小(白鷹)
	教諭	木村美和子	荒砥小(白鷹)
事務主査	米野恭子	退職	
第二小	教頭	鈴木博郎	長井市教育委員会
	教諭	佐々木友明	上郷小(鶴岡)
	教諭	畷田妃佳里	塩井小(米沢)
手ノ子小	教諭	安部賢	鮎貝小(白鷹)
	養護教諭	山川恵子	蚕桑小(白鷹)
	事務主査	小松裕子	東根小(白鷹)
添川小	校長	遠藤倫夫	長井小(長井)
	事務主査	鈴木多賀子	退職
飯豊中	教諭	大橋千佳子	退職
	教諭	小林保彦	叶水中(小国)

	職名	氏名	前任校名
第一小	校長	山川英俊	蚕桑小(白鷹)
	教諭	井上千恵美	長井小(長井)
	教諭	保科充孝	荒砥小(白鷹)
	教諭	阿部寛子	新採
	事務主査	安部容子	鮎貝小(白鷹)
第二小	教頭	高橋彰	豊田小(長井)
	教諭	酒井浩樹	沖郷小(南陽)
	教諭	梅津純子	小国小(小国)
	教諭	梅津千秋	荒砥小(白鷹)
	養護教諭	伊藤玉恵	豊田小(長井)
手ノ子小	事務主査	井上美智代	小国小(小国)
	校長	島軒隆	第四小(山形)
	主事	佐藤菜穂	鷹山小(白鷹)
添川小	教諭	桑島ひろみ	第四中(高畠)

施設
の
位
置
図

各
部
署
の
担
当
業
務

職
員
の
配
置



職員はどのように配置されているのか 平成27年度の新体制

施設
の
位置
図



町長 後藤幸平



副町長 嶋貫吉晴



教育長 佐藤晴樹

役場1階

会計管理者



渡部恵介 (異)

住民税務課



課長 後藤洋 (異) (昇)

住民室

- 室長 志田政浩
- 主査 細谷美佳 (異) (昇)
- 主事 下山田美里
- 主事 梅津典子
- 主事 菅野靖子
- 主事 鈴木咲 (異)

生活環境室

- 室長 渡部忠善
- 主事 本間和宏 (異)

税務室

- 室長 伊藤芳典 (異)
- 主査 渡部博一 (異)
- 主査 色摩里香 (異)
- 主事 舩山泰宏
- 主事 佐藤祐子 (異)
- 主事 松木秀美
- 主事 井上優里
- 納税推進員 大澤昭弘 (嘱)

会計室

- 室長 鈴木頼子
- 主事 小松智子

地域整備課



課長 遠藤純雄

建設室

- 室長 渡部和浩
- 主任 長岡佳奈 (異)
- 主任 伊藤貴広
- 技師 坂爪稔
- 主事 嵐正人
- 主事 遠藤貴幸 (新)

上下水道室

- 室長 佐藤秀悦
- 主査 遠藤克之 (異) (昇)
- 主任 舩山智香子
- 技師 鈴木直記
- 主事 後藤浩平
- 技師 安部直貴

教育委員会 教育文化課



課長 佐藤誠一郎

学校教育振興室

- 室長 安部信弘 (異)
- 指導主事 竹田安路
- 主査 上田信幸
- 主査 手塚賢太郎
- 主任 宮川千鶴子
- 子育て支援室 (兼)室長 佐藤誠一郎

- 主査 伊藤満世子 (異)
- 主任 五十嵐恵美
- 保健師 太田淳美 (異)
- まちづくり室
- 室長 後藤圭一
- 主任 木村忍
- 主事 井上克行
- 生涯学習振興室
- (併)室長 宇津木耕一 (異)
- 主査 伊藤敏英
- 文化財保護専門員 高橋拓 (嘱)

※まちづくり室と生涯学習振興室は「あ〜す」内

役場2階

総務企画課



課長 川崎祐次郎

行政管理室

- 室長 後藤美和子
- 運転長 渡部勇一
- 主査 横山昌則
- 主任 本間真紀 (異) (昇)
- 主事 佐藤智昭
- 主事 手塚寿恵 (異)

総合政策室

- 室長 鈴木祐司 (昇)
- 主査 渡辺裕和 (異)
- 主査 井上友和
- 主任 鈴木朋恵 (昇)
- 主事 横澤剛

情報防災室

- 室長 安部吉郎 (異) (昇)
- 主査 勝見賢太郎
- 主事 嶋貫大地

選挙管理委員会事務局

- (併)書記長 川崎祐次郎
- (併)書記 後藤美和子
- (併)書記 横山昌則
- (併)書記 勝見賢太郎
- (併)書記 本間真紀 (異)
- (併)書記 鈴木朋恵
- (併)書記 佐藤智昭
- (併)書記 横澤剛
- (併)書記 嶋貫大地
- (併)書記 手塚寿恵 (異)

農林振興課



課長 伊藤毅

農業振興室

- 室長 山口努
- 主査 金田正寿
- 主事 菅野邦彰
- 主事 舟山正貴
- 主事 川村俊貴
- 主事 下條洋平 (新)

農林整備室

- 室長 齋藤浩
- 主査 高橋成樹
- 主事 佐原芳寿 (異)

農地管理室

- 室長 大谷部良明 (昇)

農業委員会事務局

- (併)局長 伊藤毅
- (併)補佐 大谷部良明 (昇)
- (併)主事 菅野邦彰 (異)

商工観光課



課長 小松一芳

観光交流室

- (兼)室長 小松一芳
- 主査 竹田辰秀
- 主事 二瓶綾 (異)

産業連携室

- 室長 伊藤勝昭 (異)
- 主査 館石修

役場3階

議会事務局



局長 横澤吉和

議事室

- 主査 手塚寿子

監査委員

- (併)書記長 横澤吉和
- (併)書記 手塚寿子

町民総合センター



所長 宇津木耕一 (異)

- (併)所長補佐 後藤圭一
- (併)主査 伊藤敏英
- (併)主任 木村忍
- (併)主事 井上克行
- 地域まちづくり専門員 細川由貴 (異)

学校給食共同調理場

- 場長 立石美智雄 (異)
- (兼)主査 伊藤満世子
- 栄養教諭 星野祥子 (派)

保育園・幼稚園

- さゆり保育園
- 園長 鈴木美紀子 (異) (昇)

各部
署の
担当
業務

職
員
の
配
置

略字 (昇)昇任 (異)異動 (新)新採 (派)派遣 (嘱)嘱託 ※臨時職員を除く

町政運営の基本方針と 主要な施策の概要

明 る い 将 来 の た め に 、 い ま 種 を ま こ う

施政方針

平成27年度

町長 後藤 幸平

※平成27年度施政方針から抜粋し要約

成長の可能性のあるところにこそ人々が集まる、そのことを噛みしめる一年にしたい、これが本年度の施政方針の根幹であります。

地方版総合戦略を策定し、「いいでのまちづくり」を生かした地方創生に取り組みます。地域を基礎とした持続可能な農業農村の地域づくりを皆様とともに実践し、「日本で最も美しい田園散居村」を未来に示します。

【3重点施策】

◆雇用の創出／新しい産業と雇用の創出を目的に誘致が決定した「山形大 学蓄電デバイス開発研究センター 飯 豊拠点」のための起業支援施設整備 事業に取り組みます。

◆人を育てる／にぎわい再現プロジェクト委員会への支援を行うとともに、次代を担う中学生を対象とした町営 学習教室「いいで希望塾」を開校し、自分の力で考え、行動できる人材育 成に取り組みます。

◆地域力の向上／「飯豊・農の未来塾」を中心とした農業からの改革に取り 組むとともに、置賜地域を一つの自 給圏ととらえ、地域自給と圏内流通 の推進、安全・安心の農と食の構築 に取り組みます。

●【第4次町総合計画の実現に向けて】にぎわいあふれるまちづくり／定住 転入支援や定住環境整備を図ります。 また、誰もが参画できる住民主体の まちづくりを目指します。

●自然と共生するまちづくり／豊かな 自然と美しい景観を次世代へ引き継 ぎ、環境負荷の少ない快適な生活環 境の整備を図ります。

●生きがいと笑顔のまちづくり／保健 ・医療・福祉の一体感に包まれ、誰 もが住み慣れた地域で安心して暮ら し続けられるまちづくりを進めます。

●豊かな感性を育むまちづくり／子ど もたちに充実した教育環境を提供し、 個性を尊重した教育を推進します。 町民の生涯学習、スポーツ、芸術文 化活動を推進します。

●こだわりの産業づくり／暮らしに根 づいた産業を継承するとともに、新 たな仕事づくりを目指します。

●安全・快適なまちづくり／総合的・ 効率的な危機管理対策を進めるとと もに、公共交通確保など快適に移動 できる環境づくりを目指します。

●持続可能なまちづくり／第4次町総 合計画の前期検証と、後期に向けた 計画見直しや地区別計画の後期アク ションプランの策定に取り組みます。



写真 / 平成27年3月物産館で撮影

主 な 重 要 施 策

主要施策の中から一部を抜粋して紹介します

▶重点政策

- ▷山形大学蓄電デバイス開発研究センター飯豊拠点の施設整備、あわせて雇用・人材育成・町内外企業との連携の実現に向けて諸対策に取り組む
- ▷町営学習教室「いいで希望塾」を本格開校し、学習意欲の向上や学習習慣の定着、自分の力で考え行動できる人材を育成する
- ▷「飯豊・農の未来塾」にて農業改革から地域力の向上に努める
- ▷置賜自給圏の動きと連動し、地域自給と圏内流通の推進、安全・安心の農と食の構築を図る

▶第4次町総合計画の実現に向けた諸事業

(にぎわいあふれるまちづくり)

- ▷高円寺チャレンジショップで移住相談会を定期的に行う

(自然と共生するまちづくり)

- ▷「中水源」の取水施設整備に着手

(生きがいと笑顔のまちづくり)

- ▷ライフステージに応じた健康づくりに注力し、健康寿命の延伸と壮年期死亡の減少を図る
- ▷乳児の全戸訪問や乳幼児健診で育児支援を行う
- ▷一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯などの見守り体制や生活支援サービスの充実を図る

(豊かな感性を育むまちづくり)

- ▷第一小の校舎および体育館の全面改築工事の継続
- ▷手ノ子小体育館の耐震工事に向け実施設計に着手
- ▷地区公民館を、地域課題を主体・自発的に解決していくための地域活動拠点施設としての創造を図る
- ▷埋蔵文化財調査や歴史的資料の整理保存を行う

(こだわりの産業づくり)

- ▷農業振興地域整備計画の見直しに着手
- ▷アスパラガスの生産技術講座や生産支援を継続しながら生産振興を図る
- ▷繁殖用素牛導入助成制度を拡充し畜産振興を図る
- ▷生産者と消費者・料理人などとマッチングを行い、地産地消を推進して地域自給力の向上を図る
- ▷担い手への農地集積と集約化を加速し農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を図る
- ▷間伐材や林地残材の有効活用を図る
- ▷多目的に対応した観光・交流のシステム化を図る

(安全・快適なまちづくり)

- ▷災害情報伝達媒体の一つとして「コミュニティFMおらんだラジオ」への加入検討を行う
- ▷消防飯豊分署の改築に向けて、整備地や整備内容について具体的に検討を進める

(持続可能なまちづくり)

- ▷第4次町総合計画の前期検証と後期に向けた計画見直し、地区別計画の後期アクションプランの策定に取り組む

主 な 事 業 の 概 要 と 予 算 額

- 地域づくり推進事業／855万円／地域づくり推進事業への補助と後期計画策定を行う
- いいですね定住推進事業／1,071万円／住宅取得への支援や、結婚・出産・入学など人生の節目にお祝いを贈り、定住を推進
- 新水源取得事業／4億200万円／「中水源」の取水施設整備に着手
- 第一小学校改築事業／6億709万円／平成28年9月の完成に向けて改築工事を引き続き実施
- いいで希望塾事業／393万円／希望するすべての町内中学生に、学校以外での学習機会を提供する
- 中小企業振興事業費補助金／1億円／中小企業の新製品・新技術開発や設備投資などの必要経費に対し補助金を交付

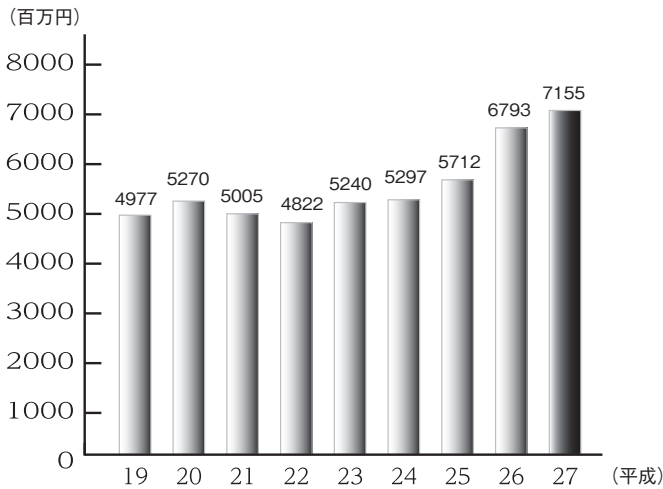
- 「飯豊中学校」太陽光発電設備導入事業／4,030万円／太陽光発電設備などを設置して災害時の機能強化を図る
- 起業支援施設整備事業／6億円／山形大学蓄電デバイス開発研究センター飯豊拠点の新棟建設工事などを行う
- 6次産業化推進事業／1,076万円／特産品開発や販路拡大への支援を行う。高円寺チャレンジショップを拠点に、町内製品の販売やPR、交流、情報発信を行う
- 飯豊・農の未来事業／520万円／「飯豊・農の未来賞」受賞論文に基づいて策定したマスタープランを推進する
- 地方版総合戦略策定事業／400万円／総合戦略策定やその重要資料となる人口ビジョンを策定する
- 移住・定住推進事業／200万円／移住希望者が利用できる体験住宅の整備、移住総合ガイドブックの作製、相談会などを行う

「施政方針」と「主な事業の概要と予算額」は、町のホームページでご覧いただけます

施政方針

検索

一般会計当初予算の推移



町の予算

the town budget

最少の経費で最大の効果を

※詳細を別冊「飯豊町の予算のあらまし」に掲載しています

予算編成の基本方針

地域の経済や雇用、暮らしへのきめ細かな対応を図ること、また、第4次総合計画に掲げる将来像「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」を実現するために、積極的な予算編成に努めました。

一般会計の予算規模は過去最高の71億5500万円、前年度と比較して5・3%、3億6200万円の増となり、5年続けての増額予算となりました。

また、一般会計と各特別会計および水道事業会計を合計した町の予算総額は、前年度と比較し5・3%増の11億4575万円、こちらも過去最高となりました。

一般会計予算

歳入の主なものをみると、町税は3・6%減の5億6483万円となっています。農家所得の落ち込みや法人税割の税率引き下げ、固定資産税は評価替えなどを見込んだものです。また、地方交付税のうち普通交付税は前年度比1・0%減の26億9860万円、町の借金である町債は、大規模事業が継続することから前年度比18・2%増の15億2430万円となっています。

歳出を性質別にみると、人件費は職員手当の増額などにより、前年度比3・0%増の9億5417万円となっています。また、公債

費は過疎対策事業債などの償還終了に伴い8・7%減の6億8478万円、扶助費は児童手当の減額などにより、0・5%減の4億3809万円となっています。義務的経費（人件費・公債費・扶助費）は予算総額の29・0%を占めています。

物件費は地域人づくり事業の減少などにより前年度比8・1%の減、補助費等は多面的機能支払交付金などの増加により9・7%の増、繰出金は介護保険特別会計への繰出の増加などにより4・8%の増となっています。

投資的経費は、第一小学校改築事業を継続するほか、起業支援施設整備事業（山形大学蓄電デバイス開発研究センター飯豊拠点）に取り組むことにより18・2%の増となっています。

また、歳出を目的別にみると、総務費は起業支援施設整備事業やふるさと納税特典経費などにより82・7%、農林水産業費は多面的機能支払交付金や水田畑地化基盤整備事業などにより32・1%の増となっています。一方、労働費は地域人づくり事業の減少により81・2%、消防費は消防設備整備事業の減少などにより14・6%の減となっています。

特別会計・事業会計予算

特別会計及び水道事業会計を合計した予算額は39億9075万円

で前年度比5・3%の増となっています。

各会計の主な予算の使い道について、国民健康保険特別会計は椿及び中津川診療所の管理運営や国民健康保険加入者の保険給付費などが主なものです。

後期高齢者医療特別会計は、山形県後期高齢者医療広域連合への納付金が約92%を占めます。

介護保険特別会計は、保険給付費が約93%を占めています。

訪問看護特別会計は、各家庭での介護ケアに当たる看護師などの人件費が主なものです。

介護老人保健施設特別会計は、「美の里」の管理運営と公債費が主なものです。

5つの財産区は、区内の造林費や作業道の維持修繕費が主なものです。

農業集落排水事業特別会計は、稼働している6つの処理区の維持管理のほか、添川地区及び手ノ子地区における管路施設の建設に取り組みます。

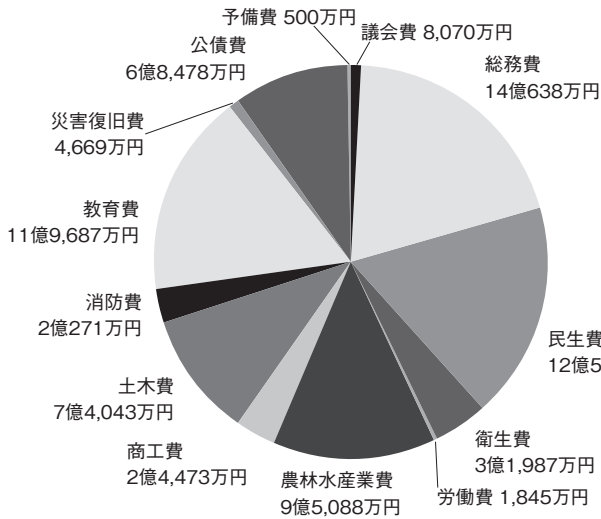
生活排水個別処理事業特別会計は、浄化槽維持管理のほか、引き続き町設置型浄化槽整備事業に取り組みます。

水道事業会計は、水道施設維持管理に努めるとともに、より安心して利用いただける水道水の確保に向け、本年度より2カ年間にわたり新水源施設の整備に着手します。

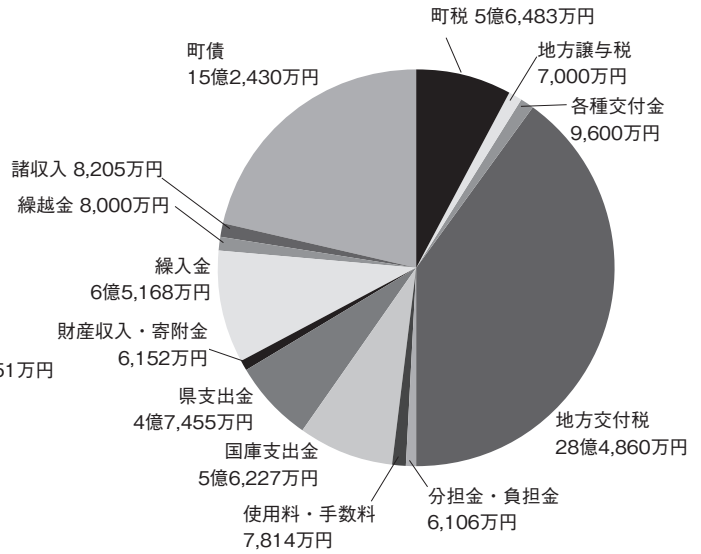
一 般 会 計

歳 出 71億5,500万円

(目的別)

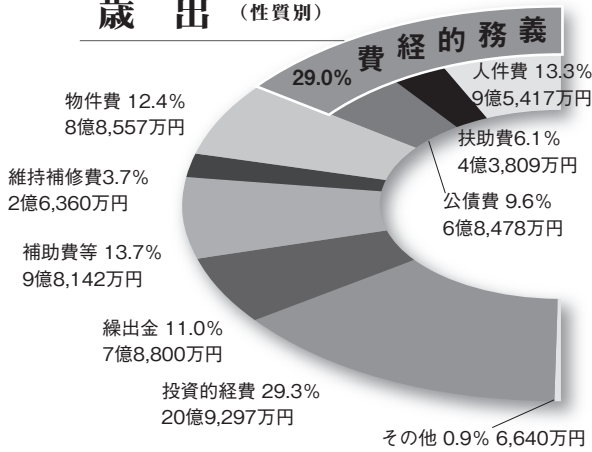


歳 入 71億5,500万円

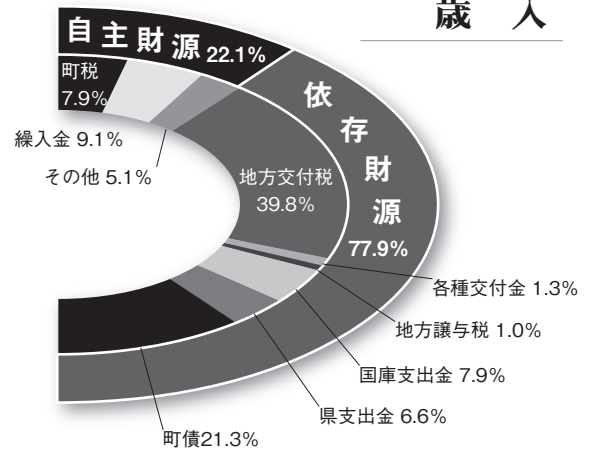


一 般 会 計 の 構 成

歳 出 (性質別)



歳 入



特 別 会 計 ・ 事 業 会 計

	本年度	前年度	前年度対比
国民健康保険 事業勘定	91,479	88,218	3.7
国民健康保険 直診勘定	15,896	15,699	1.3
後期高齢者医療	7,886	8,579	▲8.1
介護保険	111,082	104,797	6.0
訪問看護	1,768	1,817	▲2.7
介護老人保健施設	31,842	31,003	2.7
物品調達	2,032	1,816	11.9
荻生財産区	40	63	▲36.6

	本年度	前年度	前年度対比
豊原財産区	34	54	▲37.6
添川財産区	277	274	1.2
豊川財産区	32	43	▲25.1
中津川財産区	640	631	1.5
農業集落排水事業	56,140	65,957	▲14.9
生活排水個別処理事業	8,739	8,693	0.5
水道事業 損益勘定	18,997	19,440	▲2.3
水道事業 資本勘定	52,191	31,858	63.8

用語の解説

○一般会計…基本的な行政サービスを経理する会計

○特別会計…特定の事業を行うために一般会計と区分して経理する会計

歳入

自主財源…自前で収入できるお金
依存財源…使途が定められて交付されるお金
繰入金…特別会計や基金から繰り入れるお金
町債…国や金融機関から借り入れるお金

地方交付税…全国一律のサービスが受けられるように一定の基準で町に交付されるお金

地方譲与税…国などに納められた税金のうち、一定の基準で町に配分されるお金

歳出

義務的経費…支出が義務付けられたお金
扶助費…児童福祉や高齢者などへ生活を維持するために支出するお金
公債費…町債の返済に必要なお金

繰入金…特別会計などへ支出するお金
投資的経費…支出効果が将来に続く学校などの公共施設の建設や改修などに使うお金

「JA青年組織活動実績発表全国大会」 最優秀賞を受賞

JA山形おきたま青年部（飯豊地区）



井上達也さん（添川）

祝！全国大会最優秀賞

2月19日、東京都千代田区日比谷公会堂で「JA青年組織活動実績発表全国大会」が行われ、全国のブロック大会を勝ち抜いた6団体が出場しました。東北・北海道ブロック代表としてJA山形おきたま青年部の井上達也さん（添川）が出席し、最優秀賞の「千石興太郎記念賞」を受賞しました。

今回の受賞は、飯豊地区青年部にとって、平成18年度と22年度に続いて3度目で、全国の農協青年部組織で初となる快挙です。

大会を終えて

帰県後の受賞祝賀会で、木村敏和山形おきたま農業協同組合経営管理委員会会長は、「後継者不足の農業にあって、置賜の農協青年部員は少しではあるが増えている。これは、しっかりと組織が地域と一緒にあって真剣に農業に取り組んでいる成果です。実に頼もしく誇らしい」と、活躍をたたえました。発表者の井上達也さんは「このたびの受賞は、先輩盟友が活動を起こし継続していただいたこと、そして多くの協力者があってこそその受賞です。今後は、この賞に恥じない活動を盟友とともに続けていきたい」と、感謝と今後の決意を述べました。

前に進む「力」を生み出すもの

井上さんは、3度の受賞に結びついた飯豊地区青年部の推進力について全国大会の発表の中で次のように述べています。

「青年部活動の推進力は何か？それは仲間と夢を語り、未来の設計図を描き、実現していくために『常に挑戦する心を持つ』ことだと思います。その目的は活動とおして個人の人間力・経営力を高めながら、組織の団結力を強めていくことに尽きるのではないでしょう（原文のまま）」。

今後も、青年部のさらなる活躍と活動の充実に期待が膨らみます。



都内での稲作体験出前授業の様子



都市住民の来町まで発展した稲作体験出前授業。稲刈り体験の様子



高円寺純情商店街の中にある飯豊町チャレンジショップで生産物を買う若手農業者たち

～認知症になっても地域で安心して暮らすために～

飯豊町では、今年度より、認知症対策として次の事業に取り組みます。



① 早期診断・早期対応のために 認知症初期集中支援チームが訪問します

町では、認知症の早期診断・早期対応のために「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症になっても住み慣れた地域で、できるだけ長くその人らしく生活できるようご本人やご家族の支援を行います。

◆認知症初期集中支援チームって？

医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、作業療法士、介護福祉士などの専門職が、家族などからの相談を受けて、認知症が疑われる人とその家族を訪問して、お話をお聞きし本人・家族への支援を行い自立した生活を送れるようにサポートします。

◆対象となる方

自宅で生活している40歳以上の認知症が疑われる方で、下記のいずれかの方

◇医療・介護サービスを受けていない、または中断している方で、下記のいずれかの方

- ・認知症の診断を受けていない方
- ・適切な医療・介護サービスを受けていない方

◇医療・介護サービスを受けているが、認知症の症状が強く、どのように対応したら良いか困っている方

◆進め方

①まずは相談！
町地域包括支援センターへご相談ください



②自宅訪問（初回訪問）
訪問の日時は事前に相談します
ご家族の方も同席ください



③支援方針に沿ったサポート（6ヵ月間）
必要な医療や介護サービスの検討をします
症状への対応についてアドバイスします
必要に応じて専門の病院への受診をお勧めします



④その後は関係する機関へ引き継ぎをします

②行方不明になっても無事に帰れるよう事前登録制度を始めます

認知症などにより行方不明となった方を早期に発見・保護するために、長井警察署と協力し体制づくりを行います。

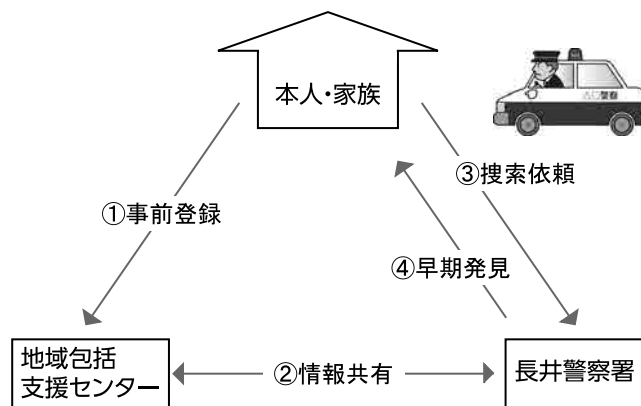
●対象者

介護保険の要介護認定を受けており、認知症による徘徊などのおそれのある方

●概要

認知症などによる徘徊のおそれのある方の情報を、事前に町（地域包括支援センター）へ届け出ることにより、長井警察署と情報共有し早期発見につなげます。

体制のイメージ図



◆問い合わせ／飯豊町地域包括支援センター ☎86-2233

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで（直通 ☎ 87-0522）



山形交響楽団ホリデーコンサート

プロ楽団の音に乗せて

3月22日、あ～すで、山響によるクラシックコンサートが行われました。町内外から約220名が来場し、ドヴォルザークの「新世界より」やブラームスの「ハンガリー舞曲」など、プロ楽団が奏でる繊細で重厚な音楽に聴き入りました。また、飯豊中吹奏楽部や合唱愛好家80名が賛助出演し、山響の演奏に乗せて合奏や合唱を披露しました。小関梓乃吹奏楽部長は「貴重な経験ができました。一流に触れる機会をもっと持ちたいです」と、共演の感想を話します。

災害時の福祉避難所指定協定の締結

災害時配慮が必要な方も安心



3月16日、町と社会福祉法人いいで福社会（伊藤悟理事長・特養ひめさゆり荘）、社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会（舟山兵八郎会長・福祉の里めざみ）との間で、福祉避難所の指定に関する協定書が取り交わされました。福祉避難所とは、災害時に一般の避難所では生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦などを受け入れる施設です。協定締結により町内の福祉避難所は美の里を含め3施設になりました。

ゆうひ 夕灯のつどい

地域をつなぐ公民館活動



3月5日、西部地区公民館で、同公民館主催による「ゆうひ 夕灯のつどい」が行われ地域住民約100名が参加しました。当事業は手ノ子地区と高峰地区の交流促進が目的で、今年で2回目。日中に両地区住民が協力して施設周りに約300個の雪壁灯籠を手作りし、夕方に点灯しました。やさしい灯りに包まれた公民館に地域住民が続々と来場。雪山に映し出された1年間の地域活動の映像を見ながら交流を深めました。



あ～すこども劇場「星空の乙女」

オリジナル演劇を初公演

3月29日、あ～すで、めざみキッズ^{プラス}！が創作演劇「星空の乙女」を公演しました。ストーリーは、おとめ座にまつわるギリシャ神話に現代風のアレンジを加えたオリジナルもの。7名のキャストは、ステージ、客席右手と後方に作られた舞台セットで、稽古の成果を堂々と披露しました。クラスメートの応援を兼ねて観劇した長沼もえさん（椿・小学2年）は、「みんな楽しそう。はっきりした声で、大きな動きで演じていてすごいです」との感想でした。

中部地区子供育成会連絡協議会除雪ボランティア

地域に貢献



3月1日、中部地区子供育成会連絡協議会（高橋宏会長・萩生）が、地区内の2高齢者宅で除雪ボランティアを行いました。同活動は今回が初めての取り組み。地区内の単育成会から役員など14名が参加して、軒下の締まり雪や通路をふさぐ雪などを手際よく取り除きました。作業後、高橋会長は「少しでも地域に貢献できて良かった。夏場は子どもたちも一緒に取り組める活動ができれば」と話します。

開発商品発表セミナー

消費者目線で



3月14日、中部地区公民館で、町地域雇用創造推進協議会主催の「開発商品発表セミナー」が行われました。同協議会が開発に携わった16商品と8レシピの紹介・試食と、高橋幸司山大教授によるマーケティングについての講演が行われました。参加者は、高橋教授から企業の販売戦略やヒット商品を生み出した工夫などを学び、試食後は各商品の良さと改善点などについて消費者目線の意見交換を行いました。



にぎわい再現プロジェクト委員会活動報告会

充実の成果を報告

3月18日、あ～すで、にぎわい再現プロジェクト委員会（安部宗和委員長）の活動報告会が行われ、約20名が参加しました。委員たちは、平成26年度中の3部会活動（婚活、交流、広報）と他団体主催事業への協力活動を、映像を交えて報告しました。全体総括の中で安部委員長は、3月末で任期を終える第3期委員を代表して、「(委員会は)自分磨きの場。委員の成長が未来のにぎわいにつながる」と、第3期18名がたどり着いた「にぎわい」についての見解を述べました。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



3/1

わくわくぐりぐら広場
(こどもみらい館)



3/1

中むら・未来へのみちしるべフォト
コンテスト表彰式 (中部地区公民館)



3/6

きのこ研修会「生産者育成編」
(やまと林産㈱など)



3/5

町内園児などの手作り雛人形展
(物産館)



3/4

第2回「飯豊・農の未来塾」



3/13

手作りクッキング
(こども未来館)



3/13

いきいき教室軽運動と閉級式
(白樺地区公民館)



3/7

日本通運「森林育成活動」
(中津川地区)



3/29

第3回心の古里いいでフォトコン
テスト表彰式 (あ～す)



3/26

卒園式
(町内幼児施設)



3/14

祝・卒業「そば打ち体験教室」
(東部地区公民館)

地域を思う先人たちの足跡 中ノ目史完成

「中ノ目の歴史を辿る会」

今やらなければ

大字萩生。縄文時代の萩生石箱遺跡や室町時代の伊達氏家臣国分氏の萩生城址、多くの古刹など、歴史は古い。この地に「中ノ目」と呼ばれる地区がある。萩生駅周辺とその北部に位置している。今年3月、同地区の歴史をまとめた「中ノ目の歴史散歩」が完成した。編纂したのは地区住民22名で組織する「中ノ目の歴史を辿る会」（手塚敏行会長）。

手塚会長は、「中ノ目にはどのような歴史があり、萩生地区の中でどのような役割を果たしてきたのか。昔を知る方が少なくなる中で、今取り組まないと永遠に埋没してしまう」と地域史編纂の動機を語る。

会設立は平成21年2月。会員の融和と組織の拡充を図りつつ、情報収集に取り掛かった。しかし、活動を始めてみると、地域には歴史に精通した古老が予想以上に少なくなっていたことや、旧家の世代交代が進む中で文献が逸失しているなど、望んだ成果を挙げることができなかった。進捗思わしくない状況で、会は休止状態に。2年が過ぎた平成23年、現状を変えるために会議が開かれた。会員の思いは会発足時と変わらず今やらなければのままで



た。初心に立ち返った会員たちは結束を固め、知恵を出し合った。

調査編集に東奔西走

会員たちは、中ノ目の歴史に関することならどんな小さなことでも調べ、会議を開き詳しく掘り下げた。郷土史研究家の故井上俊雄氏や故長岡實氏、県立うきたむ風土記の丘考古資料館長など、町内外の有識者を招き研鑽を積んだ。平成26年度には東北芸術工科大学の協力を得て、汚れやほこりで解読不可能だった八幡神社境内の金毘羅大権現堂内の板札を赤外線調査した。約2百年前のものであることを突き止め、埋もれていた地域史に光を当てた。

会設立から6年目の今年3月。中ノ目史「中ノ目の歴史散歩」が完成。写真や地図をふんだんに盛り込み、見やすく分かりやすい作り。歴史のほかに、庶民の年中行事や戦後後の農村の暮らし、昭和の歌謡曲などといった民俗についても触れ、ほかの地区に住む人にとっても価値が見い出せるものとなっている。

発刊後の思い

刷り上ったばかりの中ノ目史を手に取り、高橋事務局長は、「発刊して一区切りですが、これで終わったとは考え

ていません。地域の歴史を紐解く中で、先人の地域に寄せる思い、努力の結晶に触れることができました。このことは、今後も継承していくことが大切です。その一つとして大きなテーマですが、中ノ目のまちづくりを念頭に、人口減少問題に挑戦していこうと考えています。地域の世代を超えた皆さんと語り合い、知恵を出し合っていきたい」と話します。



「中ノ目の歴史を辿る会」（一部）。前列右から3番目が手塚敏行会長

※本書は、「あす」図書室や町内5地区公民館でも読むことができます。希望者は2,000円（送料別・数量限定）で購入も可能です。注文・問合せは高橋利一事務局長まで
☎090-4554-3019

直伝おふくろの味



ワラビののり巻き

紅シヨウガのさわやかな辛みがポイント

【材料】(4人分)

◇塩漬けワラビ

◇紅シヨウガ

◇のり

◇昆布つゆ

◇シヨウガ(千切り)

A

1 200 5 20 1
片 cc 枚 分 kg

【作り方】

- 1 塩漬けしたワラビを銅鍋でさっと茹で、2日間水にさらして塩出しする。
- 2 水切りしたワラビにAを入れて2日間下漬ける。
- 3 ②をザルに上げて水分を切る。巻きすにのりを敷いてワラビ7本の穂先を揃えて広げたらその上に紅シヨウガを載せ、挟み込むように再度ワラビ7本を最初とは逆向きに広げる。
- 4 巻きすで固く巻いたら、3等分に切り盛り付けたら出来上がり。

紅シヨウガが漬物の味も彩も引き立ててくれます



萩生地区
食生活改善推進員
後藤力ネさん

以前、近所の集会でごちそうになり、見た目もきれいで、おいしかったことを思い出して作った一品です。

作る際のポイントは、ワラビの塩出しをするときに、銅鍋を使うことでワラビが色鮮やかになり、紅シヨウガとの色合いがきれいになります。また、巻きすで巻く際にワラビは計14本使います。均等にのりで巻けるように、ワラビ半分ずつを穂先と根元が対になるように広げることでバランス良く仕上がります。

料理は味もさることながら、見た目も重要です。のりで巻かずにワラビ漬けとしても食べることもできますが、ひと手間加えることで集会での話もお茶請けを囲みながら盛り上がりがあります。

ワラビの下ごしらえに少し時間はかかりますが、ぜひ作ってみてはいかがでしょうか。



こどもみらい館の予定表 (4月・5月の日程)

4月24日(金) 10:30～	親子交通教室
30日(木) 10:30～	かんがる一広場
5月1日(金) 10:30～	ほのぼの講座
7日(木) 10:30～	おはなし広場
13日(水) 10:30～	あそびの広場・避難訓練
14日(木) 10:15～	栄養士さんの指導
20日(水) 10:30～	かんがる一広場
22日(金) 10:00～	タッチケア
29日(金) 10:15～	手作りクッキング

「こどもみらい館」をご利用ください

幼児や児童生徒の遊び場、子育て仲間の交流の場として気軽にご利用ください。一時保育も行っています。

episode

「子育てから孫育てへ」

手ノ子の1さんより

子育て応援
kosodate
ouendan
談

私たち夫婦は共働きだったこともあり、子ども3人の面倒はもっぱら祖父母に見てもらっていました。現在は3人の孫に恵まれ、孫育ては私の役割です。息子夫婦が共働きなので、「今度は私の番!」と思って毎日を過ごしています。

わが子は入園したての頃、園生活に慣れることができず、祖父母は苦勞していました。そんなこともあって、今は戸惑うことなく対応できている気がします。子育てと孫育ての違いは、育てる側の心の余裕の程度だと思います。

同年代の子どもとの遊びが少ないのではないかと、身支度に世話をやきすぎているのではないかなど、単にかわいいだけではなく孫との距離をもって接することを心がけるようになりました。

孫には心根の優しい子になってと願っています

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日

利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00

あ～す 図書室情報

今月の おすすめ図書



児童図書

だいきのみかた パンツちゃん

薫くみこ/作 つちだのぶこ/絵 ポプラ社

なかなか眠れないさあちゃん。そこへ、なかよしの「パンツちゃん」が登場。パンツちゃんを描いたがんちゃんの夢に遊びにいこうというのです。ふたりは、おふとんにもぐりこみ…。



児童図書

ティモシーとサラちいさなとしょかん

芭蕉みどり/作・絵 ポプラ社

こねずみのティモシーとサラのおとなりに住んでいたトムさんは、本をみんなに読んでもらいたいと、図書館をつくります。ティモシーとサラは、図書館づくりを手伝ううちに、みんなもそれぞれに読んでほしい本があると気づき…。



一般図書

となりの革命農家

黒野伸一/著 廣済堂出版

慣行農業が主流のY県大沼村で、有機農業を始めた春菜と和也。農業生産法人の部長で、近代農業で大沼村を再生させようと計画を立てる理保子。近代農業と古き良き農業、共存共栄への道が拓かれていく。



一般図書

111歳、いつでも今から

後藤はつ/著 河出書房新社

73歳の手習いで始めた絵に熱中、80歳代から99歳まで、100号の油絵を描き続ける。100歳を超えてからは、アメリカ旅行、個展、新たに始めた百人一首…。いつも笑顔の111歳、元気あふれるその生き方を紹介する。

●開館時間 午前9時～午後5時

●休館日 毎週月曜日・祝日

●問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



一般社団法人山形県猟友会発行「猟友やまがた」より狩猟免許初心者講習会の様子

農村や自然環境を守る番人

山形県猟友会西おきたま支部（飯豊猟友会）

- ◆会長／小松要一さん（萩生）
- ◆会員数／男性20数名
- ◆主な活動／鳥獣被害の防止、有害鳥獣の捕獲や駆除、安全射撃大会（銃の取り扱いの再確認）
- ◆会員募集対象
性別住所を問わず成人で関心のある方

●山形県猟友会西おきたま支部（飯豊猟友会）へのお問い合わせは、農林振興課農林整備室まで ☎87-0526

◆ピーアール

平成25年から西おきたま支部と名称を統一し活動しています。狩猟の際に鉄砲や檻などを使う場合、必ず免許が必要です。3年ごとに免許更新があり、毎年山形県猟友会では、狩猟知識の講習や実技訓練を行います。会員は年々減少傾向にありますが、最近では頻繁に出没するクマやイノシシなどから、地域住民を守るため、有害鳥獣の捕獲、駆除活動に協力しています。会員の減少は住民生活を守る活動や自然生態系の保全にとっても心配されます。大自然の生態系や保全、狩猟に関心のあるかたは、ぜひお声をかけてください。



小松さんにとって狩猟とは…

大自然の中、五感を研
き澄ませ、野生のいと
なみを肌で感じるこ
と

◀小松要一さん

「落穂拾い」

連載 随想 町長の目と歩き 67

後藤 幸平

いまごろ何だ、落穂拾いとは。そう、普通なら秋の催事記である。桜の開花が待ちどろしい今日この頃、桜前線到着近い飯豊の里にその風景が広がっている。雪解けあとの田んぼで落穂拾いをしていたのは、数百羽の白鳥たちである。

北へ飛び立とうとする白鳥は、真っ白いからだに土色に染まるのをもちともせず田んぼの中に嘴をつっこんで稲の落穂を必死に啄ばんでいる。

ジャンIIフランソア・ミレーの作品『落穂拾い』。誰でもどこかで目にしている作品である。畑に落ちた麦の穂を拾っている三人の農婦の姿。たくましく健康的で、大地に生きる女性たちの生命力が輝くような作品として有名な絵画である。しかし、調べていて驚いた。落穂を拾っているのはその土地の所有者でも、耕作者でもない人々であるという。その決して恵まれていないとはいえない人々が明日の糧を得るために落穂を拾う姿をあれほど希望に満ちたタッチで描こうとした博愛の目線に、その背景を知って感銘しない人はいな

いだらう。裸婦ばかり書いている三流画家だとの心無い嘲笑を偶然聞いてしまったミレーは、二度と裸婦は描くまいとして農民の姿を描き出したのだという。いつの時代も芸術家の心象風景は面白く興味が尽きない。

私は平成27年度の予算編成方針を述べる施政方針演説の中で、本年度あると繰り返し強調した。「種をまく人」。大地にしつかりと足を踏ん張り、たくましい肩、力強い腕と手で大地に種をまく人の姿、それを描いたのもミレーである。岩波書店のシンボルマークで知る人は多い。

山形大学蓄電デバイスセンター飯豊拠点への投資7億円。喫緊の課題が山積する中で、将来に向けて総予算の1割を投入するにはかなりの覚悟がいる。落穂を拾う白鳥にして、そのエネルギーで何千キロもの大空の旅へ飛翔する。ましてや、わが愛する郷土の次世代の子供たちのために、落穂ならぬ明日への種をまこう。ミレーの気概に学びたい。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

今月の
テーマ

- ・アルコール（お酒）と健康
- ・ロコモ予防

※筋肉や骨などの運動器の障害による要介護の状態や、要介護リスクの高い状態

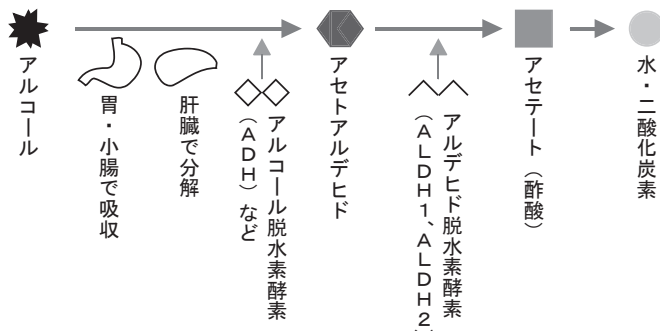


飲めない人と飲める人

アルコール（お酒）は身近な嗜好品であり、飲酒がコミュニケーションを円滑にするための手段として昔から活用されてきました。アルコールはれっきとした薬物であることは知られていません。アルコールは依存性の高い薬物でありかつ一時的に多量飲酒した場合急性毒性によって生命の危機に陥ることがあるのです。

アルコールは下図のように肝臓で分解されます。分解されるとアセトアルデヒドというものができ、それを分解するのに2つの脱水素酵素が働きます。2つの分解酵素のうち「ALDH2」の活性があるかないかによって、お酒を飲める人が飲めない人が決まります。日本人の58%は活性があり、42%は活性が弱いか欠けています。活性が弱いか欠けている人は、アルコール分解産物である有害なアセトアルデヒドを速やかに分解できないため、アルコールで顔が赤くなったり、どきどきしたり、吐き気がしたりします。また、アセトアルデヒドは毒物なのでためると肝障害や糖尿病などいろいろな病気にかかります。また、発がん性があり、これを早く分解できない人は口腔・咽頭・食道の発がん

アルコール代謝経路



リスクが特に高くなります。お酒に弱かった人が訓練すれば飲めるようになるということはありませんが、もともと飲めない人が飲めるようになったというのは、体にとっては危険なことなのです。一方、お酒が飲める人は依存症になりやすいので、注意が必要です。お酒との付き合い方を今一度振り返り、無理のない飲み方を心がけましょう。

体幹トレーニング(パート1)

今月からは体幹トレーニングを紹介いたします。

体幹とは、肩から腰周りの胴体部分のことです。骨盤が正しい位置や角度になり姿勢が良くなります。また、太い筋肉が集まっているため、鍛えることで代謝が上がります。

◆腹筋群のトレーニング

①腹直筋の運動

【回数】5回〜10回
仰向けになって両膝を立て、両手を伸ばして組み、肩甲骨がマットから離れる程度に上体をゆっくり起こす。（この時、息を吐きながら行う）

②腹斜筋の運動

【回数】左右5回
①の腹直筋の基本姿勢から、斜めに上体を起こす。5秒ほど維持し元の姿勢にゆっくり戻す。



飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

今年国勢調査の年です

平成27年10月1日を基準日に、5年に1度の国勢調査が行われます。国勢調査は、国内全ての人と世帯を対象にした重要な統計調査です。今回から、パソコンやスマートフォンからも回答できるようになりました。皆様のご協力をお願いします。

◆問合せ先/役場総務企画課行政管理室 ☎87-0520

県立農業大学校 無料「園芸教室」受講生募集

- ◆募集コース/基礎花き、基礎野菜
- ◆開催日/5月15日、6月9日、7月14日、9月28日。1回2時間
- ◆会場/山形県立農業大学校(新庄市)
- ◆募集人数/各コースとも30名
- ◆申込期限/4月28日(火)
- ※募集人数を超えた場合は抽選
- ◆申込・問合せ先/山形県立農業大学校研修部 ☎0233-22-8794

福祉タクシー券を 支給します

障がい理由としてほほえみカーの利用が困難な方に、福祉タクシー券を支給します。

- ◆対象となる方/身体・知的・精神のいずれかの障がい者手帳を所持し、下記のどちらかに該当する方
- 移動に必ず介助が必要な方
- 車いすやストレッチャーでの移動が必要な方
- ※自分で運転できる方、ほほえみカーの利用ができる方は対象外です
- ◆申請に必要な物/各種障がい者手帳、はんこ ※ご家族の代理申請も可能
- ◆申請・問合せ先/町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

「山形ふるさとCM大賞」出品作品の募集

町の魅力を映像にしたCM作品を作ってみませんか？ テーマは観光、物産、自然、人物、歴史、食べ物、伝統、文化など、町に関することならなんでもOK！まずは「やってみる！」の応募の意思をご連絡ください。

- ◆応募資格/団体・個人を問いません。町外の方も応募できます。ただし、11月中に山形市で開催される予定の山形ふるさとCM大賞公開審査会に出席できる団体・個人に限ります
- ◆応募方法/4月30日(木)まで、氏名、連絡先、タイトル、CM概要を電話やFAX、Eメールでお知らせください
- ※Eメールの場合、件名に「ふるさとCM大賞作品応募について」と記載
- ◆作品提出期限/10月1日(木)
- ◆留意点
 - 作品は著作権・個人情報保護法などに抵触しないこと
 - 公序良俗に反しない内容であること
 - 作品の著作権などは町と山形テレビに帰属します
- ◆撮影・編集について
 - 撮影機器はホームビデオ(ハイビジョン)でも十分です。撮影・編集に不安がある場合はご相談ください
- ◆賞金/CM大賞への出品に採用された団体には賞金10万円を贈呈します
- ◆その他
 - 5月中旬に応募者に説明会を開催
 - 山形ふるさとCM大賞に出品される作品は、町の魅力を最も強くアピールしているものを選抜します
- ◆応募・問合せ先
 - 飯豊町観光協会事務局 ☎86-2411
 - FAX86-2422 iide@iikanjini.com
 - 役場総務企画課情報防災室 ☎87-0522 FAX72-3827
 - i-johobousai@town.iide.yamagata.jp

危険物取扱者試験の 準備講習会

- ◆日時
 - 乙種(第4類のみ)
 - 6月2日(火)9:30~16:30
 - 3日(水)9:00~16:00
 - 丙種
 - 6月2日(火)9:30~16:30
- ◆定員/乙種100名、丙種20名
- ◆会場/米沢市すこやかセンター
- ◆申込期間/4月20日(月)~5月22日(金)
- ◆申込・問合せ先
 - 消防本部予防課 ☎88-1797
 - 消防署飯豊分署 ☎72-2222

河川の支障木を 無償で提供します

- 県では、河川の支障木を一般の方に無償提供します。申し込みは不要ですが、提供物が無くなり次第終了します。営利・転売目的の場合は提供できません。
- ◆提供期間/5月20日(火)~5月22日(金)
 - ◆提供時間/9:00~16:00
 - ◆提供場所/置賜白川飯豊橋下流東側の河川敷(添川地内)
 - ◆対象者/自ら積み込み運搬できる方
 - ◆提供量/一人軽トラック1台
 - ◆問合せ先/置賜総合支庁西置賜河川砂防課 ☎88-8234

戸籍の窓

(3月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名
 (黒 沢 渡 部 善 彦さん
 米 沢 市 鈴 木 彩 夏さん)

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親
 黒沢 古 山 結 愛ちゃん (良 輔
 萩生 後 藤 穂乃花ちゃん (大 希
 はづき)

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢
 椿 上野 新 沼 芽 生さん 0
 黒沢 旭 手 塚 ミ チさん 90
 高峰 西向 井 上 テ フさん 101
 中 中北 舟 山 敏 雄さん 92
 椿 財津堂 長 沼 富 次さん 91
 添川 東山 野 嶋 かつ江さん 74
 椿 厚生 安 部 與 助さん 93
 中 中西 田 中 かつえさん 86
 椿 上野 佐 野 初 栄さん 94
 中 北酒町 佐 藤 セツ子さん 79
 岩倉 高 橋 す ゑさん 78

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

3月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,391 (2)	転入	24	
人	男	3,698 (-12)	転出	43
	女	3,925 (-19)	出生	2
□ 計	7,623 (-31)	死亡	14	

◇残り少なくなっていた名刺を、内容を変えずに刷り増しました。今年度も引き続き広報の主担当になりました。町内のいろんな場所、多くの催し物でお会いすると思えます。よろしく願います。

▽4月です。春を探しに町内を散策しました。地表が現れた田んぼや畑、雪解け水で勢いと嵩を増した置賜白川、大きな水槽に沈んだ種籾(浸水作業)、役場近くの道端ではフキノトウを見つけました。枯れ草の中にある2つの鮮やかな黄緑色は、つぼみの状態が過ぎ、少し背が高くなっていました。

(かつみ)



飯豊町教育委員会からのお知らせ

子ども読書活動推進計画

読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を向上させ、創造力を豊かにするのに適した活動です。

しかし、近年は、子どもたちの生活環境が大きく変化したことや幼児期からの読書習慣の未形成などにより「読書離れ」が懸念されています。

そこで、町教育委員会では子どもたちが読書好きに育つように、学校、幼児施設、家庭、地域、町が取り組むことや目標などを定めた「飯豊町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

- ◇計画期間／平成27～31年度
- ◇計画書配布施設／あ～す図書室、地区公民館、役場教育文化課
- ※町ホームページでもご覧いただけます

いじめ防止基本方針

平成25年9月に「いじめ防止対策推進法」が施行されました。

町教育委員会では、いじめの防止、早期発見、適切な対処のための施策を総合的かつ効果的に推進し、児童生徒一人一人にとって「安心・安全で楽しく学べる」環境をつくるため、「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定しました。

基本方針の全文は町ホームページに掲載しています。

◆問合せ先

役場教育文化課学校教育振興室

☎87-0519

http://www.town.iide.yamagata.jp

飯豊町 検索

県消費生活サポーター募集

県では消費生活に関するボランティアとして「山形県消費生活サポーター」を募集しています。県内在住の20歳以上の方で、悪質商法による被害防止など、消費生活に関心のある方ならどなたでも応募できます。応募後は、研修の受講が必要です。

◆申込期限／5月15日(金)

◆問合せ先／山形県消費生活センター

☎023-630-3237

行政相談員

困ったら一人で悩まず行政相談。4月1日、総務大臣から五十嵐眞さん(手ノ子)が町の担当行政相談員に再委嘱されました。

五十嵐さんは、白樺地区公民館で毎月1回行われる相談会でも、相談を受け付けています。

◆行政相談員とは

国の行政機関、独立行政法人、特殊法人の業務などに対する、住民の要望や意見を受け付けて、相手機関が自主的に改善するように働きかける仕事をしています

◆委嘱期間

4月1日～平成29年3月31日

◆問合せ先／総務省山形行政評価事務所 ☎023-632-3113

役場住民税務課生活環境室

☎87-0514

第2回 心の古里いいでフォトコンテスト

本コーナーでは、ふるさと感じさせる飯豊の風景、自然と四季・人・花・樹木をテーマとした「第2回心の古里いいでフォトコンテスト」の受賞作品を、佐藤秀明審査員の講評と受賞者のよろこびの声と共に掲載してきました。平成25年7月号から掲載が始まり、昨年12月号ですべての作品を紹介しました（全18作品）。

今年1月からは、作品に納められた“ふるさと”を直接感じていただきたく撮影ポイント（略図）と共にダイジェスト版でご紹介してまいりましたが、今回が最終回となります。次号から第3回の「心の古里いいでフォトコンテスト」の受賞作品を掲載します。

撮影ポイント

